



第31号

○発行年月日  
平成27年7月30日  
○発 行  
社会福祉法人  
安房広域福祉会  
〒294-0231  
千葉県館山市中里288-1  
TEL 0470-28-2422  
FAX 0470-28-2424  
<http://www.nakazato.or.jp/>



四季の移り変わり

### ボランティアのお知らせ

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家

館山市中里 288-1  
TEL 0470 (28) 2022  
FAX 0470 (28) 2023  
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム

館山市中里 291  
TEL 0470 (28) 2422  
FAX 0470 (28) 2424  
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

平成27年 8月5日(水)  
17時30分～20時30分  
雨天延期 8月6日(木)

● 催事内容

学生フーラメンコ・舞踊・  
大抽選会・打ち上げ花火

● 夜店

フランクフルト・  
焼きそば・かき氷など  
もりだくさん!  
ゲームコーナー



## 組織・運営・意識の抜本的改革を

理事長 武田 金市郎

「信頼は絶対必要である。ただそれによりかかった経営は許されない。」

を生んだものと思います。

前記の課題を解決すべく、現在、役員と職員が一體となって取り組んでおりました。その結果につきま

今年度もスタートして三ヶ月半

が過ぎ、夏祭りの準備も例年どおり着々と進んでおります。

ところが、例年と大きく異なる出来事があります。会計職員による不正が五月に発覚した事件であります。約六年間にわたる不正を気付かなかつたことは組織の在り方、運営の方法等の欠陥、また、役員や職員の意識に課題のあつたことを物語っております。法人の責任者として慚愧に堪えません。

関係各位に深くお詫び申し上げます。

当法人は昭和六十二年の「中里の家」の事業開始以来約三十年間、事業が大きく拡充されました。それに伴い利用者・職員も増加いたしました。それに応じた経営の改善が施されないことが前述の課題

上げます。

このように地域の皆様方の温かいご支援とご信頼をいただき、続けるのにもかからず、冒頭のような不祥事を起こし、信頼を傷つけ

ましたこと残念なりません。今

後信頼を回復すべく倍旧の努力を続けて参ります。よろしくお願ひいたします。

## 新年度がスタート

中里の家施設長 畠山 正昭

中里の家では4月から新しく4名のスタッフを迎え、スタートいたしました。

本年度は「権利擁護」をテーマに利用者の方々の自己選択、自己決定を尊重し、その人らしく暮らすことができるよう、あらゆる機会や場面を設けてたくさん経験を積み重ねてほしいと思います。私たち職員は利用者の方々の様々な行動や感情ができるだけ正確に読み取ることが求められています。

最後にこれから福祉の動向について不安もありますが、障がいを有する方々にとって制度の充実と地域社会の理解促進が図れるよう努力し続けていくとともに、障

がいを有する方々を支える私たち利用者、ご家族、地域から信頼される施設づくりを目指していくことが大切であります。

ボランティア活動に参加下さつておりまます。紙面を借りてお礼申しあげます。利用者の高齢化に伴う介護や重い

施設については29年目となり、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 各事業所から

## 20年目を迎えて

中里ワークホーム 次長 近藤大介

中里ワークホームは平成7年に開所し、今年で20年目を迎えることとなりました。昭和62年に安房圏域で初めて障害をお持ちの方の施設とし中里の家が開所、その後も地域の方々のニーズに応じ、「障害をお持ちの方の仕事の場」として考えられたのが中里ワークホームです。

開所当時は木工・工芸・製麺・農産の4作業からスタートし、椅子などの木工製品、野菜の苗、お皿や湯飲みなどの製品のほか、当時は製麺班で「そば」の作付けを行い秋になると利用者、職員総出で収穫を行ったことを思い出します。(なかなか皆さんが満足できる工賃をお支払いする事ができませんでした。)それが中里ワークホームの基盤となり、現在製麺班は「和麵家中里」での店舗営業、農産班はお米(今年はなんと6.3haものお米の生産に取り組みます)を主に四季に応じた加工品の製造、また多くの方々が参加できる内容として内職作業を中心とした「依託作業班」の3作業を中心に仕事の提供を行っています。

振り返ると今まで良いことも悪いこともあります。しかし開所当時の初心の気持ちを今もう一度確認し、この20年間に多くの方々との出会いを大切に今後も皆様の期待にお応えていきたいと思います。この先更に10年、20年、中里ワークホームがどのように変わっていくか、今から楽しみです。

## 新年度を迎えて

児童デイセンターこすもす 所長 押元 昇

新年度を迎える今年は児童福祉法の見直しがなされ、新たな利用料の換算や各サービスの提供方法などが一部変更となりました。前回の失敗を繰り返すことのないよう行政機関(県、市)への確認を密に行い各事業の請求業務にあたり再度皆様にご迷惑をおかけすることのないよう実行したいと思います。

新しい年度のはじまりは「新しい出会いの時」であり児童発達支援(未就学児童)や放課後等デイサービス(就学児童)の各対象の児童との新たな出会いを楽しみにしています。新しい友達やご家族と一緒に楽しく「頑張り」、「遊び」、「笑い」、「時には泣き」ながら、ともに成長しこの安房地域のご家族に笑顔が増えるよう努めて行きたいと思います。

また、こすもすも開所し7年が経とうとしています。各関係機関や利用される児童やそのご家族の皆様のご協力とご理解を受け、皆様に支えられながら、小さな歩幅ですが一步、一步前に進んで来る事ができました。今後も後退することなく常に前進できるよう各事業を展開して行きたいと思います。

## 末永いお付き合いを

障害者就業・生活支援センター中里 所長 杉村利之

先日の出来事、「行くところがないなら、いつでもうちに来なさい!」

何気ない会話の中での一コマでしたが、私にとっては最大級の賛辞であり、思わず感極まってしまいました。Aさんにはどう響いたか…?これは以前にAさんが勤めていた勤務先の社長がAさんにかけてくれた一言です。Aさんは訳あって転職、その後も動向をずっと気にかけてくれていた社長。再就職をする中、たまたま立ち寄った昔の職場で社長がAさんにかけた言葉。5年前に開所した当センターの第1号の就職者と事業主とのやりとりに対して非常に感慨深いものがありました。ちなみに現在、Aさんは他社を希望し就職活動中。障害ある方と企業との橋渡し。一筋縄にはいかないことも多々ある中、一期一会ではない末永い出会いとなるよう、登録者の方々の頑張りと地域の皆様に支えられながら、本年度もまい進していきたいと思います。

## 初心忘れるべからず

桜の里 所長 江部純子

桜の里が開所してから、今年で3年目の春を迎えることができました。これも一重に、ご利用の皆様、ご家族の皆様、また、各関係機関の皆様のご理解・ご協力・ご支援の賜物であると、感謝申し上げます。

さて、「3年」というものは、あらゆる物事の節目であったり、また、気持ちにゆとりがでてくる頃ではないでしょうか。「石の上にも三年」・「桃栗三年柿八年」という「ことわざ」もありますが、言葉の意味から、忍耐、挑戦、実りという言葉をイメージとして感じられます。そこで、私は恩師の言葉を思い出すのです。「初心忘れるべからず。」目標を達成すること、経験を得ることはもちろん大切なことです。いつでも一生懸命さは、人を温かい気持ちにさせ、感動を呼びます。皆様が安心して、また、楽しく1日を過ごせる場所として、今できる精一杯をご提供していけたらと思っております。

中里の家

## レクリエーション大会!!

支援員 前田 ひとみ

6月5日、待ちに待つたレクリエーション大会です。ラジオ体操から始まり、パン食い競走にリレーと定番の競技の他に初の試みとなる紙ヒコーキ飛ばしが私の中では一番印象に残っています。あまり活動の中で取り入れていない事であつた為、已惑つて利用者さんが多く、持ち方一つ取つて



▲元気良く選手宣誓をして頂きました。



▲新競技紙ヒコーキ飛ばしにチャレンジ

中里の家

サポート班  
1日外出

支援員 川上 賢人

5月19日、サポート班では1日外出を実施しました。利用者さんと職員を合わせて46名で、富崎小学校へ行きました。体育馆では、ボール遊びをする方や職員と手をつなぎウォーキングをされる方やおやつのお菓子の前から動かない方がいたりと自由に過ごされました。たくさん遊んだ後は……昼食です！厨房の方が今日の外出のために特



にぎりを片手に談笑しながら食事をしました。美味しかった弁当を皆さん残さず召し上がっていました。午後もボール遊びや近隣を散策したり各自の希望に合った活動を行いました。新体制となつて約1ヶ月経過しました。今回の外出でより親睦を深めることができたのではないでしょか。帰りのマイクロバスの車内で、「また行きたいよ」と声をかけていただき嬉しく思いました。



▲フランクころころ♪



▲幸せになれる？！「四つ葉のクローバー」

今年の作付面積は6・3haと昨年より少し増えましたが、早めに準備をしてきたこと、また職員・利用者の強い絆で円滑、かつスピーディーに進めることができたのではないかと考えてあります。



▲まっすぐに植えられたよ！



▲とったどー！

晴天に恵まれたGW。3・5日余暇活動としてラーメン屋台・カレー作り・BBQと3日間に渡り計画を立てました。私も含め食べるところが大好きな皆さん。食べるためには準備にも努力を惜しまず、ビックリする程の流れ作業!! 食材を切る女性陣、外でセッティングをする男性陣、焼く人、見ている人、皆で協力して「はい、いただきます！」片付けだって皆でやればあつという間でした。

午後からは、ドライブ・ウォークング・カラオケ・昼寝?!と各自別れて好きな場所へ。私はウォーキングで野鳥の森を目指しました。日焼けを恐れながらも人々の散歩、いろいろな話をしながら楽しい道のりでした。そして、なぜか野鳥の森では四つ葉のクローバー探しに夢中に……白焼けは? とツツコミが入る程黙々と探し続け……ゲット!! ある場所にてとてもたくさんの四つ葉が咲いていました。GW最終日。なんだか幸せな気分になれた余暇活動でした。

## 中里 ワークホーム

### 幸せな気がした余暇活動

支援員 豊崎 千恵

4月23日からスタートしたワーカー・ホーム恒例の田植えが天候にも恵まれ、約10日間のペースで5月2日に無事終えることができました。

今年の作付面積は6・3haと昨年より少し増えましたが、早めに準備をしてきたこと、また職員・利用者の強い絆で円滑、かつスピーディーに進めることができたのではないかと考えてあります。秋の収穫という目標を目指し、全員でしっかりと管理していきたいと思います。

## 中里 ワークホーム

### 田植え、せら豆、そしてアフキ

支援員 江部 徹

んな目標があるからこそ、私は明日も頑張るぞという気持ちになれるのです。

そして、田植えが終わると、加工品の主力商品であるきやらぶき用のふきの収穫と、山本の畑に作付した、そら豆の収穫がほぼ同時に始まります。春から夏にかけては農産事業は忙しい日々が続きますが、皆様により良い品をお届けできるようスタッフ全員で協力し合いながら前進していきたいと思います。

中里の家

## 南総ガラコン合唱団 ♪ コンサート鑑賞

支援員 大岩 真人

5月31日、利用者さん6名が、南総文化ホールにてガラコン合唱団十周年記念コンサートを鑑賞させていただきました。

歌謡曲、オペラ、クラシック、日本の歌とのバラエティあふれる合唱に加え、情熱あふれる踊り、素敵なステージ衣装など見て楽しむことでのできる素晴らしいコンサートでした。

「みんなで歌いましょう」のコーナーでは、歌に合わせて笑顔でリズムを取つて利用者さんもありました。

中里の利用者さんには、音楽の好きな方がたくさんあります。また機会があれば、是非聴きたいと、話したいと、話すをされました。



▲情熱あふれるステージ♪

中里  
ワークホーム

## ピーバー号が 来ました

看護師 小倉 達也

5月19日に千葉県保健口腔センターから口腔保険衛生巡回車(ビーバー号)が来所しました。ビーバー号が来る日を、掲示していたので当

日の朝「歯をみがいたよ。」と声をかけてくる方や、磨いた歯を見せて「丈夫かな?赤くならないかな?」と少し心配そうな方がいました。緊張した中ビーバー号の健診が始まりましたが、しだいに緊張感も消えてになりましたが、しだいに緊張感も消えてになりました。歯科衛生士の方から手鏡を持ちながら、わからずく丁寧な磨き方を教えていただき皆さんは真剣に磨いていました。午後からは職員も、歯科衛生士の方から「下の前歯・歯と歯茎の境目・奥歯・歯の重なっている部分は磨けている様でも磨けていない場合があります。」また自分の歯で食事をおいしく食べる喜びをみんなに知つてもらいたいです。」と話がありました。歯の健康について、歯磨きの大切さ“教えていただき有意義な1日でした。



▲ディスカッション



▲介護技術

中里の家

## 施設内研修に参加して

支援員 天野 孝也

私が今回の新任者研修を受けて感じた事は、相手の気持ちを考えながら利用者の方に支援をしていく大切さを改めて認識できた事です。

これまで高齢者福祉に従事してきましたが、当法人の理念「自他相愛」の精神である、他者を大切に想つ事は支援にあたり、とても重要だと感じました。私は、今まで「介護」は経験してきましたが、「支援」は初めての経験です。介護の仕事に従事してきた時もそうですが、支援していくにあたり「利用者」の方の気持ちを考え、接していくことが私達ができる当然の事だと思います。また、グループディスクッションでは、他の方の意見を聞けたり、私とは違う視点での考えがあり、色々と考えさせられる部分がありました。利用者への方の具体的な疑問などの話しができ、チームワークの重要性も認識できました。

最後になりますが、私が今まで培ってきた経験を基にこれから色々と学んでいき、良い支援員になれるよう努力し従事していきたいと考えています。

# にじのかけはし

桜の里

今回の交流会が私自身、初めての参加でしたが、普段と違った利用者さんの表情や様子が見られたことや、日頃なかなかご家族の方とお話しきる機会も少ないのでこのような交流できる機会に参加さ



▲みんなでお散歩

した。毎年恒例となっていましたが、午前にご家族の皆さんと一緒にウォーキングと昼食の焼きそばと、あにぎり作りを行いました。皆さんそれに初夏の一日を楽しめているようでした。午後からは輪投げ大会を開催し、家族の皆さんと、利用者さんに分かれて競い合いました。なかなか難しい方もいらっしゃいましたが、ご父兄の支えを受けながら挑戦する様子が微笑ましく感じられました。



▲桜の里メンバー！。



せて頂き、とても貴重な一時を過ごさせて頂きました。  
▶焼きそばおいしくできるかな?  
◀輪投げ大会。

## 家族交流会

支援員 福原 謙

こすもす

## こすもすに 「児童指導員」を配置しました

支援員 家守 亜矢

毎年度のように、国は、障害福祉サービス等報酬改定をします。聞きなれない言葉ですが、いわゆる施設を利用したときの利用料の改定です。

平成27年度もこの改定が行われ、様々な福祉サービスの報酬が改定されました。

児童デイセンターこすもすでは、今年度の改正により、「児童指導員」という職員を配置しました。

これは、現行の保育士や指導員に加えて、支援の質を確保するために一定の要件を満たした職員を児童指導員として配置したということです。

一定の要件とは、専門課程の勉強をしたり児童の施設で働いた経験によります。

児童デイセンターこすもすでは、今まで勤めた職員の中で、一定の要件を満たしている職員が「児童指導員」となりました。

職員の顔ぶれを変えずに「児童指導員」を配置することになったということも、こすもすを利用し



▲集中しています。

ているお子様たちを長年に渡り支援してきた職員がいるということになります。

保護者の方々とのお付き合いも長いということになります。これは、安心してお子様に利用して頂く施設としても重要な要素となりますので、「児童指導員」が居るか居ないかというのは一つの判断基準にもなることでしょう。

福祉サービスの制度や料金は毎年少しづつ変化をするので、これからも情報を伝えていきます。

## ショップ専用車両購入しました

3月にふれあいショップ平砂浦の専用車両を購入しました。早速市内を所狭しと走り、配達などで大活躍しております。安全運転を心掛けてまいりますので、今後もよろしくお願いします。



▲ショップ専用車両購入しました。

今年度から中里の家に勤務する事になりました。障がいを持たれる方々と長い時間接しました黒川栄です。  
事務員の方々が多く、とまどいや驚く事ばかりです。しかし、利用者の方の笑顔を見ると毎日とても楽しく仕事ができ、頑張ろうと思っています。  
まだまだ学ぶ事が多いですが、頑張って支援、介助をしていきますので今後ともよろしくお願いします。



中里の家  
支援員 黒川 栄

今年度から新しく入りました館山出身の戸田幸輝と言います。福祉関係の仕事をいたのは、人の役に立ちたいと思ったからです。今は仕事を覚えるのが大変ですが、利用者の方との触れ合いはとても楽しく過ごせています。まだわからない事はたくさんあります、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

中里の家  
支援員 戸田 幸輝

中里の家  
支援員 天野 孝也

中里の家次長 鎌田 浩幸

近年、障がい及び老人を含む福祉施設での火災が多く発生し、千葉県内でも福祉施設の火災で命を落とすという悲しい出来事が起きたのは記憶に新しいところだと思います。

今回、中里の家、中里ワークホームにて設置運営するグループホーム4棟に、千葉県から「社会福祉施設等耐震化施設整備補助事業」の補助金18,261千円を頂き各4棟にスプリンクラーを設置いたしました。

今回、整備致しましたスプリンクラーが作動する事が有ってはいけませんが、利用者の方々が、日々安心し生活できる様、グループホームに従事する職員は一層防災意識を向上させて行きたいと思います。



▲スプリンクラー

## 新職員紹介



中里の家  
支援員 島田 幸弘



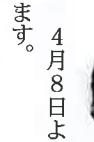
中里ワークホーム  
事務員 岡田 和弘

6月より支援員として中里の家で勤めさせて頂く事になりました。初めて携わる支援の仕事を学ぶ事がたくさんあり、職員のみさんに助けていただきながら奮闘しています。利用者様には声を掛けて頂き教えてもらいましたが、新たに障がい者福祉にチャレンジしたく4月より中里の家に勤めさせて頂いております。心機一転頑張って参りますので、皆様よろしくお願いいたします。

支援していけるゆとりある気持ちを持つてようになりたいと思います。



桜の里  
支援員 桜川 翔太



中里ワークホーム  
事務員 小宮 和代

みなさん初めまして。本年度より桜の里にて支援員として働かせていただいている桜川です。

初めてのことばかりで、まだまだ覚えなればならないことや、不慣れな点がありますが、まずは利用者の皆さんと仲良くなれるよう努めていきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願い致します。



中里ワークホーム  
支援員 田邊 優

初めてまして田邊と申します。3月より送迎と依託支援員として勤務させていただいている。

第二の人生としてこの仕事をしていますが、利用者の方を乗せていますので安全第一を考えいつも運転しています。

どうぞよろしくお願いいたします。



中里ワークホーム  
調理員 玉村 弥栄

6月1日に入社してから早2ヶ月が経ちました。毎日いろいろな人達と関わる事ができてとても楽しい職場だと感じます。仕事の方はまだまだ覚える事がたくさんあります早く先輩方に追いつけるように努力していきたいと思います。

横領事件の全容については、現在も説明中です。事件発覚後、再発防止のため事務のしくみを改善したり、会計職員を2名に増やすなどしております。犯罪を見逃してきた今までのしくみを反省し、利用者本位の施設を作りたいと思います。皆様の御協力をお願いします。猛暑の折、皆様、ご自愛下さい。